



山野草 カラマツソウ

北海道から九州まで広く分布する大型の野草。長い茎の先に、白く細い糸状の小花をつける。花弁はなく、開花時にガクが落ちる。花のように見えるのは、残った雄しべの集まりである。

とうめい news

2022.6.1
Vol.250

〒243-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野 昌史
編集責任者:和田 博貴
印刷:(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

乳がん検診とマンモグラフィ検査

放射線技術科:
橋本 智子

TOPICS

現在、女性がかかる「がん」の1位を占めているのが「乳がん」です。特に30～60代で最もかかりやすい「がん」であり、「がん」死亡原因のトップです。

「乳がん」は若い年齢で発症するのが特徴で30歳代から増え始め40歳以上になると急激に増えて行きます。

「乳がん」が増えた原因として生活習慣の変化や食生活の欧米化が影響していると考えられます。(出産の高年齢化・高タンパク質・高脂肪など)

一方、「乳がん」は早期発見が出来れば90%は治る病気だと言われています。「乳がん」の予防の為に食生活の改善や適度な運動など健康的な生活を心がけることも重要ですが、「乳がん」の予防には定期的な検診を受ける事がとても大切です。しかし乳がん検診を受診される方はまだ多くないのが現状です。

乳がん検診では早期がん発見に対する有用性が認められているマンモグラフィを行っています。そこで今回は、マンモグラフィ検査の紹介をしたいと思います。

マンモグラフィとは、乳房専用X線検査です。「乳がん」の初期症状である微細な石灰化の発見や、触診では分かりにくい小さい腫瘍(しこり)の発見にとっても有用な画像診断です。

◆検査方法は?

撮影台の上に乳房を乗せ透明の板で圧迫し薄く広げて撮影を行います。乳房を均一の厚さにすることで乳腺内に隠れている腫瘍(しこり)を見やすくし、厚さを薄くすることでより鮮明で正確な画像を得ることが出来ます。乳房を圧迫する時間は十数秒で、左右それぞれ撮影し検査終了まで約10分程度となります。

◆痛みは?

乳房を圧迫し撮影するため痛みを感じる事があります。痛みには個人差があり乳房の大きさに関わらず、乳腺が発達した方のほうが痛みを感じるようです。そ

のため乳房が張り痛みに敏感になる月経前を避け月経後から1週間の間に検査を受けることをおすすめします。また撮影するとき緊張して体を固くしてしまうと痛みが増すこともありますので体の力を抜くことも大切です。

◆被ばくは?

X線を使った検査になるため放射線被ばくがありますが、1回の検査で浴びる放射線量は日常自然に浴びている放射線量とほぼ同じで心配はありません。また乳房を薄く圧迫することで被ばく線量を少なくすることが出来ます。1cm薄くすることで被ばく線量は半分になると言われていますので圧迫を行うことが大切になります。

ただし、妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方は検査前に必ずご相談ください。

◆トモシンセシスマンモグラフィ装置(3Dマンモグラフィ)

当クリニックでは2019年6月に「トモシンセシス対応マンモグラフィ装置」を導入しました。トモシンセシスとは乳房撮影をする装置が扇状に動きながら撮影を行い、得られたたくさんの断面像を再構成し1mm間隔の細かい画像を3Dで作成することが出来ます。正常乳腺の奥に隠れ発見しにくかった病変の確認が容易となり、「乳がん」発見の精度向上が期待される撮影法です。

当クリニックでは乳がん検診を受ける事ができます。マンモグラフィ検査は全て女性技師が行っています。高い検診精度を保つため撮影技術の向上に日々努めています。安心して受診してください。

「乳がん」は自分で発見ができる「がん」でもあります。定期的な検診と自己触診を併用し早期発見に努めましょう。

